



J. FRONT RETAILING

2024年4月15日

会社名 J. フロント リテイリング株式会社
コード番号 3086
代表者名 代表取締役社長 小野 圭一
お問合せ先 コーポレートコミュニケーション室
TEL 03-6865-7621

2024年3月度 J. フロント リテイリング 連結売上収益報告 (IFRS)

1. セグメント別売上収益 (売上高) (対前年増減率: %)

	売上収益(IFRS)		(参考)総額売上高	
	3月度	上期累計	3月度	上期累計
百貨店事業	13.4	-	13.1	-
SC事業	17.6	-	17.3	-
デベロッパー事業	28.7	-	28.7	-
決済・金融事業	▲ 6.5	-	▲ 6.5	-
その他	▲ 23.8	-	▲ 23.5	-
連結合計	15.3	-	14.8	-

- ※注) 1. 当社は2017年3月から国際会計基準(IFRS)を任意適用しています。
2. 総額売上高はIFRS売上収益のうち「百貨店事業」の消化仕入取引を総額に、「SC事業」の純額取引をテナント取扱高(総額ベース)に置き換えて算出しています。
3. 各セグメントの対前年増減率は、それぞれを構成する事業会社の単純合算により算出しており、セグメント内消去を含みません。
4. 新所沢PARCOは、2024年2月末日をもって営業を終了しました。

2. 事業別の概況

1) 百貨店事業

- 3月度の売上高は、中旬まで気温が平年より低く推移したことにより、春物衣料品へのマイナス影響があったものの、ラグジュアリーブランド、化粧品、宝飾品が大きく売上を伸ばし、訪日外国人売上も好調に推移したことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年13.9%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同14.3%増となった。
- 大丸松坂屋百貨店の免税売上高は、対前年190.1%増(客数同163.3%増、客単価同10.2%増)となった。大丸松坂屋百貨店の国内売上高(免税売上の本年・前年実績を除く)は対前年4.1%増であった。
- なお大丸松坂屋百貨店の4月度の既存店売上(法人・本社等を除く)は、ラグジュアリーブランド、化粧品、宝飾品が好調を維持し、お花見需要などで訪日外国人売上も大きく伸長していることなどから、14日までの累計で対前年13.5%増、国内売上は、同0.8%増で推移している。
- 4月度の免税売上高は対前年183.5%増(客数同123.8%増、客単価同26.7%増)で推移している。

2) SC事業

- アニメやゲーム系コンテンツのキャラクター雑貨の伸長や、訪日外国人客の取り込み強化などにより、全店で16.1%増(既存店19.3%増)となった。16店舗中13店舗が前年を上回り、9店舗が2桁伸長となった。

3) デベロッパー事業、決済・金融事業、その他

- デベロッパー事業は、J. フロント建装がホテル内装工事の好調持続などにより増収となり、全体でも増収となった。
- 決済・金融事業のJFRカードは、加盟店手数料が増加したものの、ポイント費用の増加などにより減収となった。
- その他は、卸売業の大丸興業が、電子部品の不調などにより減収となり、全体でも減収となった。

【お問合せ先】 J.フロントリテイリング株式会社 コーポレートコミュニケーション室
IR推進担当 TEL 03-6865-7621
グループ広報担当 TEL 03-6865-7616

2024年3月度 百貨店事業 営業報告(総額売上高)

1. 売上高および入店客数 (対前年増減率：%)

	3月度		上期累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	42.7	32.0	-	-
大丸 梅田店	7.8	7.7	-	-
大丸 東京店	8.9	5.1	-	-
大丸 京都店	20.7	3.8	-	-
大丸 神戸店	9.6	6.8	-	-
大丸 須磨店	▲3.0	▲1.8	-	-
大丸 芦屋店	0.7	5.0	-	-
大丸 札幌店	18.4	0.0	-	-
大丸 下関店	1.4	7.0	-	-
松坂屋 名古屋店	6.7	6.0	-	-
松坂屋 上野店	4.3	10.2	-	-
松坂屋 静岡店	4.5	6.9	-	-
松坂屋 高槻店	▲1.4	8.4	-	-
店 計	14.4	7.7	-	-
法人・本社等	2.4	-	-	-
大丸松坂屋百貨店合計	13.9	7.7	-	-
うち商品売上高	13.8	-	-	-
うち不動産賃貸収入	16.7	-	-	-
博多大丸	20.6	10.4	-	-
高知大丸	13.2	8.4	-	-
百貨店事業合計	14.3	7.9	-	-

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高 (対前年増減率：%)

	全店計	
	3月度	上期累計
紳士服・洋品	▲1.0	-
婦人服・洋品	21.8	-
子供服・洋品	▲2.5	-
その他の衣料品	▲8.9	-
衣料品計	18.2	-
身 回 品	5.2	-
化粧品	38.8	-
美術・宝飾・貴金属	17.8	-
その他雑貨	▲11.4	-
雑 貨 計	24.9	-
家具	▲13.4	-
家電	▲16.6	-
その他の家庭用品	3.2	-
家庭用品計	▲1.2	-
生 鮮	1.0	-
菓 子	4.1	-
惣 菜	5.6	-
その他食料品	▲12.5	-
食料品計	1.5	-
食堂・喫茶	8.0	-
サービス	4.9	-
そ の 他	▲1.3	-
合 計	13.8	-

3. 営業概況

- ・ 婦人服・洋品は、3月中旬まで気温が平年より低く推移したことにより春物衣料品の動きがやや鈍かったものの、ラグジュアリーブランドが引き続き売上を牽引した。紳士服・洋品は、アウトドア用品やスーツが好調であったが、ポロシャツ、パンツなどの動きが鈍かった。身回品では、アクセサリやハンドバッグが好調に推移した。雑貨では、インバウンド需要の増加などにより、化粧品が大きく売上を伸ばした。食料品では、ホワイトデー需要などにより菓子が売上を伸ばしたほか、レストラン・喫茶も好調であった。

2024年3月度 パルコ店舗 テナント取扱高報告

※「テナント取扱高」とは、パルコ店舗におけるテナント取扱高(売上)の合計値で、前年の値も同じ基準で集計いたしております。

1. 店舗別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	3月度	上期累計
札幌PARCO	32.3	-
仙台PARCO	18.3	-
浦和PARCO	22.1	-
池袋PARCO	22.2	-
PARCO_ya上野	16.5	-
ひばりが丘PARCO	▲5.3	-
吉祥寺PARCO	2.8	-
渋谷PARCO	41.7	-
錦糸町PARCO	15.5	-
調布PARCO	5.1	-
松本PARCO	▲21.7	-
静岡PARCO	▲3.6	-
名古屋PARCO	22.6	-
心齋橋PARCO	42.3	-
広島PARCO	1.5	-
福岡PARCO	7.4	-
全店計	16.1	-
既存店計	19.3	-

※注) 1. 新所沢PARCOは、2024年2月末日をもって営業を終了しました。
2. 既存店計には、新所沢PARCOの前年実績値を含みません。

2. アイテム別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	全店計	
	3月度	上期累計
衣料品	7.4	-
身回品	16.1	-
雑貨	34.2	-
食品	▲2.5	-
飲食	12.8	-
その他	20.1	-
合計	16.1	-

3. 営業概況

- ・アニメやゲーム系コンテンツのキャラクター雑貨の伸長や、訪日外国人客の取り込み強化などにより、全店で16.1%増（既存店19.3%増）。16店舗中13店舗が前年を上回り、9店舗が2桁伸長となった。
- ・アイテム別では、全アイテムについて前年を達成。特に雑貨については、34.2%増と前年を大きく上回り、渋谷PARCO、心齋橋PARCO、仙台PARCOを中心に、アニメやゲーム系コンテンツのキャラクター雑貨が特に好調だった。